

2023年度第2回インドネシア教育支援

日 程：2023年8月5日(土)～6日(日)

場 所：インドネシア・バンテン州 / Lembah Hijau Bandulu

参加者：船橋 弘靖 ゴム連合 書記長

三保 雄介 ゴム連合 中央執行委員

恵島 美奈江 JAF 副事務局長

研修生：300名

インドネシア教育支援について：

インダストリアル・JAFは、2002年よりFSP-KEP(化学・エネルギー・鉱山・一般労働組合連盟)が実施するユニオンリーダー養成講座の支援を行っている。インダストリアル・JAFは、この研修に構成組織より講師を派遣し、民主的で自立した労働組合を形成することを目的として講義を行っている。

2023年度第2回目は、2023年8月5日～6日にインドネシア・バンテン州にて開催され、ユースセミナーの講師として、船橋 弘靖ゴム連合書記長と三保 雄介ゴム連合中央執行委員に協力頂いた。

講師派遣に協力頂いたゴム連合ならびに講師を務めて頂いた船橋書記長、三保中央執行委員に感謝申し上げます。



以下に、三保 雄介ゴム連合中央執行委員のレポートを掲載します。****

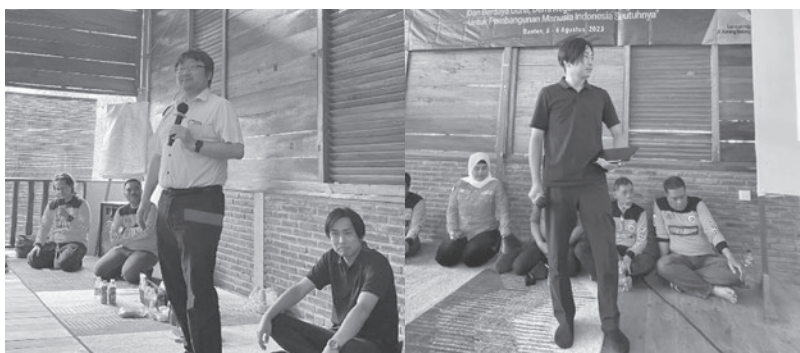
今回、インダストリアル・JAF 恵島副事務局長、ゴム連合船橋書記長と共に、インドネシアの化学・エネルギー・鉱山関連の産別組織であるFSP KEPの若手層を対象としたユニオンリーダー教育プログラムへ講師として参加させて頂きました。

研修は首都ジャカルタから西へ120キロメートルほど離れた野外活動施設で行われました。講演会場はおよそ20メートル四方の広さの屋根付きの野外ホールで、そこに“FSP-KEP”と書かれたオレンジ色のTシャツで統一された200名以上の若手組合員がずらりと並んでおり、インドネシアの気候と皆さんの熱気が相まってかなりの暑さでした。いよいよ講演の時間となり、その始めに幹部の方が組合員みなさんにマイクで話し始めたのですが盛り上げ方が大変上手で、すぐさまライブ会場の様に盛り上がり、「がんばろう三唱」の様なコールアンドレスポンスを3分くらい続けていました。その元気の良さに圧倒され、やや緊張しながら話し始めたのですが、私が話をする度に大きな声や拍手で反応してくれるため、徐々に緊張が解けスムーズに話すことができました。こういった組合員の元気さや話し手に対する反応は日本ではあまり見られないもので、私自身、見習わなければならないと感じました。

講演の内容は「日本における労働組合活動について」と題し、日本での労働組合誕生から現在に至るまでの労働組合に関する歴史や日本の労働組合をとりまく状況、労使関係のあり方、一般的な労使協議制度、春闘などについて説明を

行いました。事前にインドネシアにおける労働法制、労働組合の考え方や労使関係などについて学習していましたが、日本と異なる部分も多く、少し難しい内容の講演となっていたと思いますが、それでも講演後は質問も挙げて頂き、今回の講演で使った資料が欲しいという声も頂きました。講演後、幹部の方とも情報交換をさせて頂きましたが、労働者に不利な法改正が行われてしまい、それを改善するため労働組合から多くの議員を擁立する準備を進めており、政治から労働界を変えていこうとしているという話を伺いました。このような交流を図る中で、日本においても労働に関する課題は山積していますが、それでも日本の労働環境は非常に整備されているのだということを確認する事ができました。

今回、現地の若手組合員の皆さんと目を見て対話をし、触れ合うことを通じて、WEBでは得られないような一体感を感じることができました。最後に、今回の様な貴重な機会をくださったインダストリアルJAFの皆さま、そしてインドネシアで温かく迎えてくださったFSP-KEPの皆さまに改めて御礼申し上げます。そして今回の研修が、一つでもFSP-KEPの皆さまの気付きとなり、お役に立つことを願っております。



船橋書記長

三保中央執行委員